



平成21年度 守る会の活動方針

守る会会長 板並 和夫

昨年7月の東海北陸自動車道全線開通によって、世界遺産白川郷荻町集落を訪れる観光客は増大しており、住民の観光産業への依存度も益々高まっています。

この観光の目玉は、「白川郷荻町集落の自然環境を守る住民憲章」のもとに守り継がれてきた合掌家屋とその周辺の農村景観や自然環境であります。このため昨年の大寄せでは、世界遺産合掌集落の保存継承のため、この「住民憲章」を再確認して頂きました。

これまで守る会では、平成17年の世界遺産10周年記念に採択された「2005世界遺産国際フォーラム白川郷宣言」を当面の活動指針としておりますが、平成21年度も引き続きその具現化を図ると共に「住民憲章」が掲げる自然環境の維持保全のための活動を行います。

◎白川郷宣言の3つの柱

- (1) 隣人にやさしい心豊かで安全な共同生活のいっそうの充実
- (2) かけがえのない美しい文化遺産の保全と未来への継承
- (3) 国内外の人々との文化交流を通して友好の輪の拡大

①組織の強化と話し合いの充実

- ・各組・各種団体選出の委員がその代表者として責任を持ち、組・団体内への定例会の報告や意見要望を把握し区民会員全体の守る会となるよう努めます。
- ・現状変更申請の審議の円滑化を図るとともに、周辺を含め景観保全にむけた充実した話し合いを進めます。
- ・「世界遺産マスタープラン住民検討会議からの提唱」による村等への意見反映や、住民として必要な取り組みを行います。

②景観・文化遺産の保全と未来への確かな継承

- ・財団等関係団体と連携し休耕地の復元・農地保全に努めると共に、営業者等との話し合いを通じて世界遺産に相応しい農村集落の維持改善に努めます。
- ・交通対策委員会が行う集落内への大型車乗り入れ規制に協力し、安全な生活・観光環境を目指します。
- ・荻町交流施設検討委員会において、集落内幹線道路の舗装と側溝等の世界遺産集落に相応しくより良い形態を研究し整備の要望・実現に努めます。

③研修会等自主的な活動の展開と内外への情報発信

- ・全国の連携協力関係にある協会・団体等の総会・研修会等に積極的に参加し、他地区の取り組み状況を学ぶとともに、荻町住民及び守る会の集落保存に向けての活動をアピールしつつ、美しい文化遺産の保全と未来への確かな継承につなげます。
- ・広報ねそとホームページを最大限に活用し、守る会の活動状況や景観保全の重要性を内外に広く発信します。
- ・荻町合掌集落の環境保全等について、住民意識の醸成・高揚を図ることを目的とした研修会等自主的な活動を企画実施します。
- ・ナショナルトラスト寺口家を活用し、合掌集落の保存継承に関する荻町区・守る会等の合掌集落保存活動等について、観光客を主体に紹介します。

(以上、4月定例会にて承認済)

セガ岩倉庫夏期使用開始・・・昨年冬より活用がスタートしましたセガ岩倉庫は、4月5日に搬出・整備を済ませ、11月までの夏期使用に入りました。今回は12件18台の農機具、除雪機が収納の予定となり、順次活用を進めています。夏期の収納はこれで満杯状態となっておりますが、今後の使用や要望等がありましたら、黒木一般環境部長へお知らせ下さい。

旧寺口家の活用におきて・・・4月5日に田中合掌環境部長のもとに、旧寺口家の棟つつみ、雪囲い外し、清掃作業を終えました。価値ある旧寺口家合掌家屋を整備し有効活用するために、今年度は守る会が主体となった活用を考えています。一般農家の合掌家屋（村指定文化財）の公開、守る会の活動を発信する展示物、定例会での活用等を予定しています。

CBCふるさと市民エコジャーナリスト作品発表会!!

～白川郷の自然環境を取り上げた作品が優秀賞に!!～

昨年夏にCBCが行いました「ふるさと市民エコジャーナリスト講座 in 白川郷」（守る会協賛）に参加されました大村怜央さん親子のレポート作品「白川郷の自然環境」が、2月21日のみだしの発表会で記事部門の優秀賞に選ばれ表彰されました。村外より参加された大村さん親子は、白川郷の美しい自然環境を丹念に観察。そして、子どもらしい視点からたくさんの虫に親しんだり、自然環境を守るための住民の努力についてインタビューしたりして作品にまとめました。

その作品の一節です。「村では毎月会合があり、美化運動があったり、清掃作業、草刈り作業などの共同作業がたびたびあるそうです。合掌屋根を守るために受け継いできた『結』の精神があるからこそ、みんなで協力する体制ができあがっているのでしょう。ベースにあるのは、人と人の絆であることがわかり、大変勉強になりました。」

「守り生活する私たち住民にとっても、とても大きな励みになりました。ありがとうございました。なお、本事業の趣旨等につきましては、CBCのHPをぜひご覧ください。
(hicbc.com)



[表彰式の一場面]

[文責：和田]

平成21年度白川郷荻町集落の自然環境を守る会委員一覧			
選出部門	氏名	役職・所属部会	
選 挙	板並 和夫	◇会長	
推 薦	根尾 俊道	◇副会長	
推 薦	和田 正人	◇事務局長 ○総務部長	
推 薦	藤坂 俊幸	○企画部長	
集落議員	松井 實	・相談役	
集落議員	長瀬 吉実	・相談役	
集落議員	川田 裕	・相談役	
集落議員	上手 英二	・相談役	
中屋組	滝 昌也	・一般環境部	
東上組	石坂 康	・一般環境部	
東中組	長瀬善治郎	・総務部	
東下組	田中 栄作	○合掌環境部長	
西上組	板谷千華良	・合掌環境部	
西下組	和田 典勝	・一般環境部	
橋場組	黒木 徹	○一般環境部長	
女性会	清水喜代美	・企画部	
女性会	横井 清美	・総務部	
女性会	後藤 美紀	・総務部	
青年	山下 秀則	・企画部	
合掌組合	矢野 政幸	・合掌環境部	
土産品組合	神田 将成	・企画部	
飲食店組合	今藤 亘	・企画部	
宿泊業	岡本富士男	・合掌環境部	
合掌財団	飯波 直文	財団事務局長	
合掌財団	下目 稔	財団職員	
合掌財団	松本 継太	設計士	
教育委員会	近藤 久善	文化財担当	

= 3月の活動報告 =

- 3月 6日 委員研修視察（菅沼相倉集落7名）
- 3月10日 3月定例会（18名）
- 3月11日 ねそ3月号発行
- 3月17日 トラスト打合会（役員）
- 3月20日 荻町交流施設に関する視察（役員）
- 3月20日 財団会計監査（事務局）
- 3月23日 合掌造り保存財団理事会（会長）
- 3月29日 役員会

5月の定例会は11日（月）を予定しています。

= 区民の皆様へ =

建物や土地などの現状を変更する場合は許可が必要です。必ず現状変更申請をして下さい。申請書は守る会定例会の2週間前までに、各組委員に内容を説明の上、委員又は財団に提出して下さい。このことは、遺産の保全と未来への継承のためとても重要なことです。皆さんの理解とご協力をお願いします。

☆ 4月の協議事項（現状変更申請に関わって）☆

- ***** 下屋の増築（再審）
- ***** 看板の付替え
- ***** 引違い建具設置
- ***** 建物改修
- ***** 増築及び改修
- ***** 看板の取付け
- ***** 仮設丸太屋根
- ***** 仮設の庇
- ***** 住宅新築
- ***** 田の基盤直し（伝建地区外）